

総合計画上の位置付け

施策の大綱	生活環境の充実	施策の目的	自然と調和した生活環境をつくる	施策	廃棄物処理・リサイクル
-------	---------	-------	-----------------	----	-------------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
ごみの収集・処理体制	ごみの収集・処理体制	生活環境課
ごみ減量・資源リサイクルの推進	ごみ減量・資源リサイクルの推進	生活環境課
し尿の収集・処理体制	し尿の収集・処理体制の効率化	生活環境課

目標

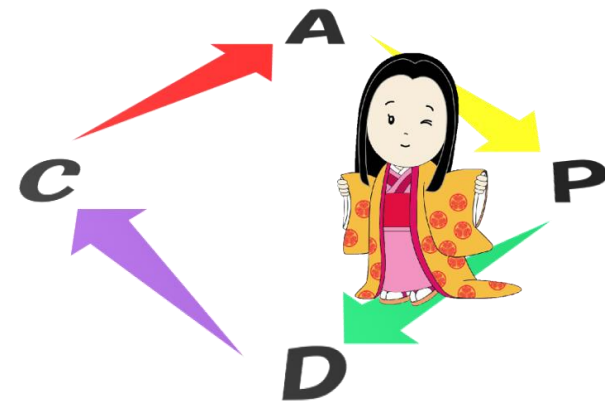
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
ごみやし尿の処理・収集に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	37.7%	42.7%
一日一人あたりのごみの排出量	地区別の排出量	3R運動などの推進によって減少を目指す。	水海道地区 586.6g	減少
			石下地区 524.7g	減少

令和2年度の実行状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

ルール違反をする人が多いため、その分予算も大きくなってしまいう悪循環に陥っているように思う。ごみの分別・収集方法などの周知を再度徹底し、市民一人一人の分別意識を高める施策が必要と考える。生ごみ減量のため、料理の工夫や生ごみコンポストの利用などの情報を広報誌等で発信をしてはどうか。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	ごみの収集・処理体制			
担当	生活環境課			
予算科目	一般会計			
	4款	2項	1目	4事業
事業の目的	市内から排出される一般廃棄物を各広域事務組合の施設において処理するため、1人当たりのごみ排出量削減を目指す。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	生活環境の充実
施策の目標	自然と調和した生活環境をつくる
施策	廃棄物処理・リサイクル
施策の方向	ごみの収集・処理体制

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	446,799千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		550.0 g
実施内容と改善点		
常総環境センターでは、外国人による分別収集を徹底するため、外国語表記のごみ袋作成を提案し協議している。また、クリーンポート・きぬでは、資源物の分別が課題となっており、資源物の袋を作成する提案が出されている。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	市民に対して、違反（警告）ステッカーを貼って啓発活動を行っているが、未だ改善されていない状況である。
分析	外国人に対し、外国語表記のごみの出し方や分別表を配布するだけでは改善されない。市民一人一人が分別意識を高めていくような対策が必要となる。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

令和2年度	決算額	397,232千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		615.0 g
当初の成果目標		- g
実施内容と改善点		
市民に対して、不適物が混入されているごみ袋には違反（警告）ステッカーを貼って、市民に分別の改善を図っている。また、資源物回収率を向上させる目的で、ごみ処理施設での展開検査等を実施し、今後の分別課題を強化する。		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		g
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
g		g

令和元年度	決算額	591,176千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		551.0 g
当初の成果目標		- g

成果指標	
1人1日あたりのごみ排出量	
単位	g



NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	ごみ減量・資源リサイクルの推進			
担当	生活環境課			
予算科目	一般会計			
	4款	2項	2目	2事業
事業の目的	市民に対して、ごみの減量化・資源化意識の向上を図り、ごみの分別を徹底させる。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	生活環境の充実
施策の目標	自然と調和した生活環境をつくる
施策	廃棄物処理・リサイクル
施策の方向	ごみ減量・資源リサイクルの推進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	6,061千円
	うち 特定財源	3,643千円
成果目標		100.0 g
実施内容と改善点		
生ごみ処理容器等購入補助金の交付件数を増加させ、生ごみ堆肥化事業世帯件数を増加させる。 ※再資源化・リサイクルの推進を積極的に周知する。		

令和2年度	決算額	3,762千円
	うち 特定財源	3,626千円
成果実績		61.0 g
当初の成果目標		- g
実施内容と改善点		
○集団資源回収報奨金 交付件数 69件 回収量 662,056.90kg 報奨金 3,310,835円		
○生ごみ処理容器等購入補助金 交付件数 37件 交付金額 330,400円		
※再資源化・リサイクルの推進を積極的に実施した。		

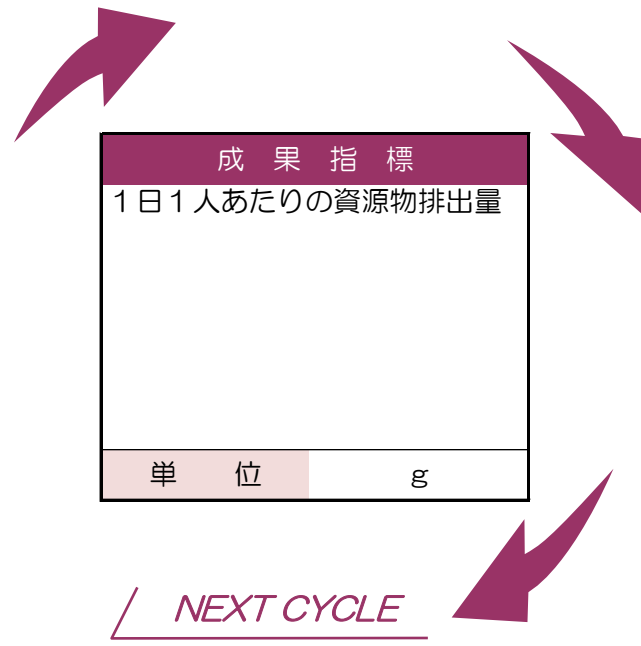
令和元年度	決算額	5,879千円
	うち 特定財源	4,994千円
成果実績		53.0 g
当初の成果目標		- g

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	新型コロナウイルス感染拡大の為、小中学校の資源回収が中止になるなど、前年度より資源回収率が下がっている。
分析	現在、エコショップ認定店等に資源物持ち込む世帯が増加しており、資源物回収率が下がっている傾向である。今後は、家庭から出る生ごみ処理を重点に置き、生ごみ処理容器等購入補助金の件数や生ごみ堆肥化事業世帯数を増加させることで、ごみの減量化に努める。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		g
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
g		g

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	し尿の収集・処理体制の効率化			
担当	生活環境課			
予算科目	一般会計			
	4款	2項	3目	1事業
事業の目的	下水道事業等が完成した地区の水洗化促進を図り、効率よいし尿収集・処理体制を構築する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	生活環境の充実
施策の目標	自然と調和した生活環境をつくる
施策	廃棄物処理・リサイクル
施策の方向	し尿の収集・処理体制

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	142,738千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		70.0 %
実施内容と改善点		
一部事務組合に負担金を支出し、し尿処理を実施する。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	し尿や生活雑排水などの生活排水処理の数量目標を達成するためには、公共下水道が整備されている区域内の世帯について、水洗化を促進することが必要である。
分析	し尿処理は生活の場からし尿を容易かつ迅速に排除し、安全で安定して処理すること、また減量化を図ることを目的としているが、従来の主目的に加えて、周辺環境に与える負荷を極力軽減させること、地球規模での温暖化防止対策に貢献することが、施設整備や運営等において重要となってくる。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

令和2年度	決算額	143,714千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		67.0 %
当初の成果目標		- %
実施内容と改善点		
一部事務組合に負担金を支出し、し尿処理を実施した。		
○常総衛生組合 負担金 103,553,903円 処理量 14,052kl		
○下妻地方広域事務組合 負担金 40,160,000円 処理量 8,161kl		

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

成果指標	
下水道水洗化率	
単 位	%

NEXT CYCLE